

アナベル 死霊博物館 (2019)

ANNABELLE COMES HOME

メディア 映画
ジャンル ホラー
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 106分
初公開日 2019/09/20
公開情報 ワーナー
映倫 G

【キャッチコピー】

背筋も凍る、おるすばん。

【解説】

大ヒットした「死霊館」のスピノフとして、同作に登場した実在の呪われた人形“アナベル”にスポットを当てた人気ホラー・シリーズの第3弾。アナベルが嚴重に保管された超常現象研究家ウォーレン夫妻の自宅を舞台に、留守番を任された少女たちが、封印を解かれたアナベルによって戦慄に悪夢に見舞われるさまを描く。主演は「gifted/ギフテッド」のマッケナ・グレイス。共演にマディソン・アイズマン、ケイティ・サリフ、パトリック・ウィルソン、ヴェラ・ファームガ。監督はシリーズ前2作や「IT/イット “それ”が見えたら、終わり。」などの脚本を手がけ、本作が監督デビューのゲイリー・ドーベルマン。

超常現象研究家ウォーレン夫妻は、忌まわしい呪いが宿る恐るべき人形“アナベル”を自宅に持ち帰り、地下室の“博物館”に運び込む。そこには他にも様々な呪われた品々が嚴重に封印されていた。ある日、夫妻は仕事で家を空けることになり、一人娘のジュディは夫妻にシッターを頼まれた年上のメアリーとその友人のダニエラとともに留守番をすることに。ところがダニエラが地下の博物館に入り込み、誤ってアナベルの封印を解いてしまい…。

【クレジット】

| | | | |
|-------------|-------------|-----------------|------------|
| 監督 | ゲイリー・ドーベルマン | Gary Dauberman | |
| 製作 | ピーター・サフラン | Peter Safran | |
| | ジェームズ・ワン | James Wan | |
| 原案 | ゲイリー・ドーベルマン | Gary Dauberman | |
| | ジェームズ・ワン | James Wan | |
| 脚本 | ゲイリー・ドーベルマン | Gary Dauberman | |
| 撮影 | マイケル・バージェス | Michael Burgess | |
| プロダクションデザイン | ジェニファー・スペンス | Jennifer Spence | |
| 編集 | カーク・モリ | Kirk Morri | |
| 音楽 | ジョセフ・ビシャラ | Joseph Bishara | |
| 出演 | マッケナ・グレイス | Mckenna Grace | ジュディ・ウォーレン |
| | マディソン・アイズマン | Madison Iseman | メアリー・エレン |
| | ケイティ・サリフ | Katie Sarife | ダニエラ |
| | パトリック・ウィルソン | Patrick Wilson | エド・ウォーレン |
| | ヴェラ・ファームガ | Vera Farmiga | ロレイン・ウォーレン |
| | マイケル・チミーノ | Michael Cimino | |

| | |
|----------------|--------------------|
| ポール・ディーン | Paul Dean |
| スティーヴ・コルター | Steve Coulter |
| アリソン・ホワイト | Alison White |
| スティーヴン・ブラックハート | Stephen Blackehart |